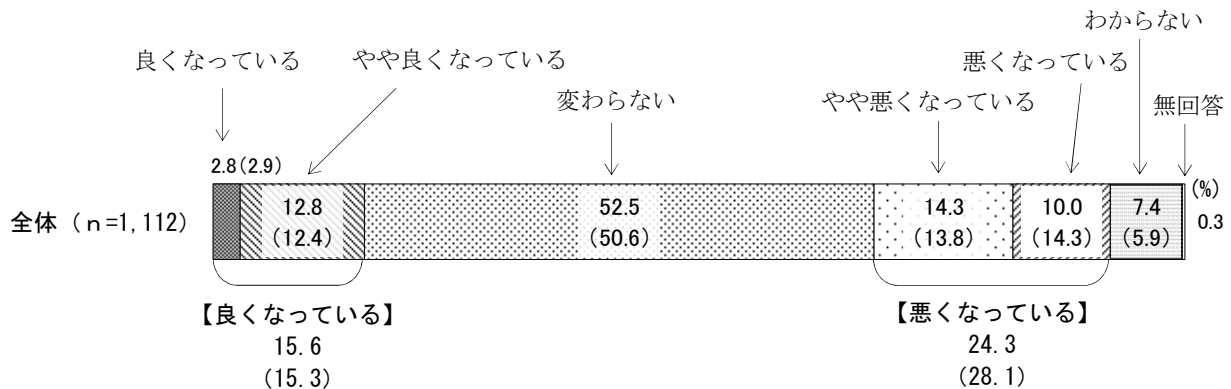


## XII 交通マナー

### 1. 県内の交通マナーの状況

#### －「変わらない」が5割超－

問35 あなたは、この数年の間に県内で、交通マナーはどのように変化していると思いますか。次の中から、一番近いものを1つだけ選んでください。



※( )内の数値は、平成23年の調査結果

※「わからない」は、平成23年では「わからない・無回答」。

県内の交通マナーの状況としては、「変わらない」(52.5%)が5割を超えて最も高くなっている。一方、「やや悪くなっている」(14.3%)と「悪くなっている」(10.0%)を合わせた【悪くなっている】(24.3%)は2割台半ば、「良くなっている」(2.8%)と「やや良くなっている」(12.8%)を合わせた【良くなっている】(15.6%)は1割台半ばとなっている。

#### －【悪くなっている】が約4ポイント減少－

前回調査(平成23年)と比べると、【悪くなっている】が約4ポイント減少している。

#### －特に大きな地域差はない－

地域別でみると、各選択肢で特に大きな地域差はみられない。

#### －男性で【良くなっている】が女性よりも約4ポイント高い－

性別でみると、【良くなっている】は、男性(17.6%)が女性(13.5%)よりも約4ポイント高くなっている。

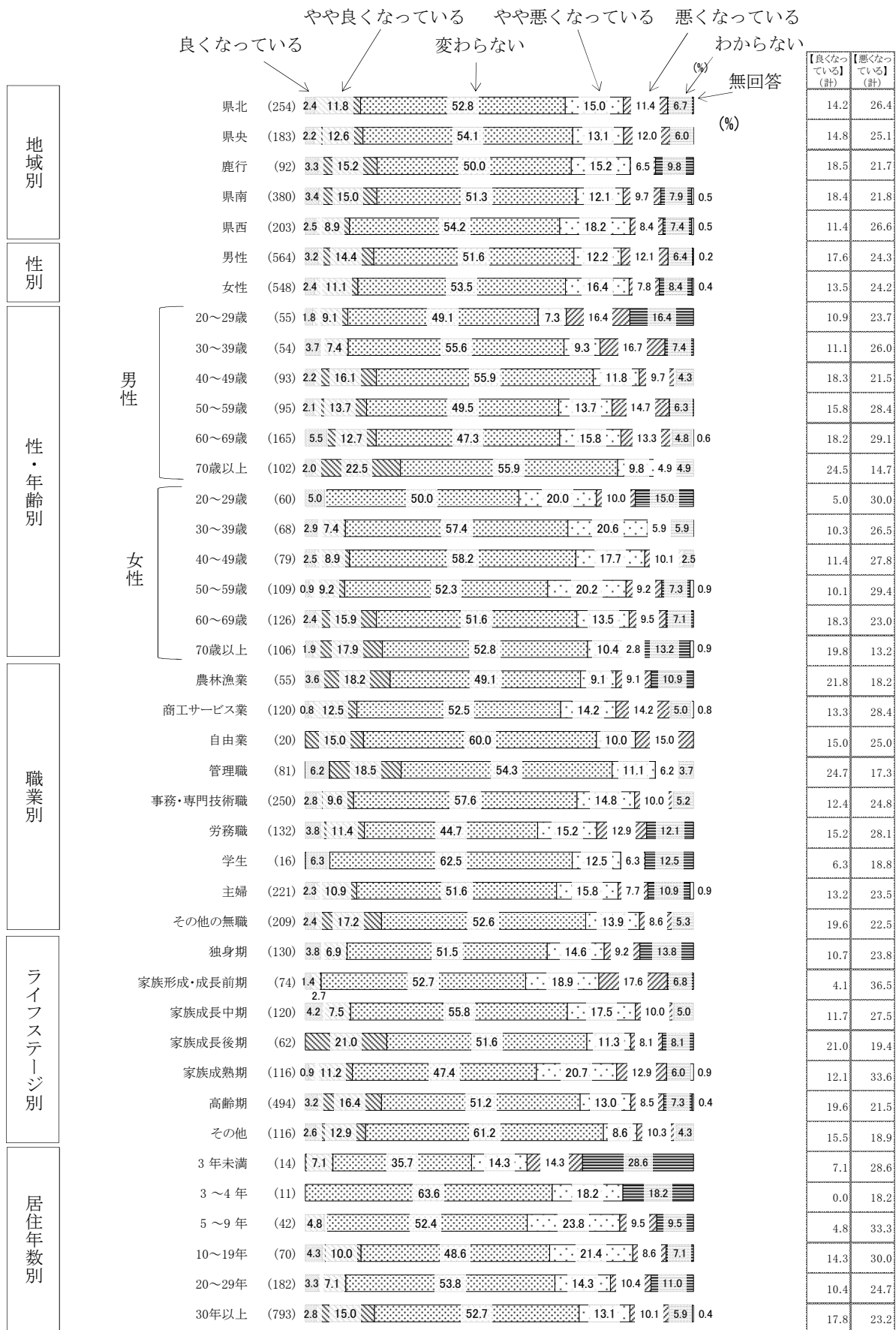
#### －女性の30代と40代で「変わらない」が約6割－

性・年齢別でみると、「変わらない」は、女性の30代(57.4%)と40代(58.2%)で約6割と高くなっている。

#### －男性の70歳以上で【良くなっている】が2割台半ば－

性・年齢別でみると、【良くなっている】は、男性の70歳以上(24.5%)で2割台半ばと最も高くなっている。

図Ⅻ 35-1 県内の交通マナーの状況  
(地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別, ライフステージ別, 居住年数別)

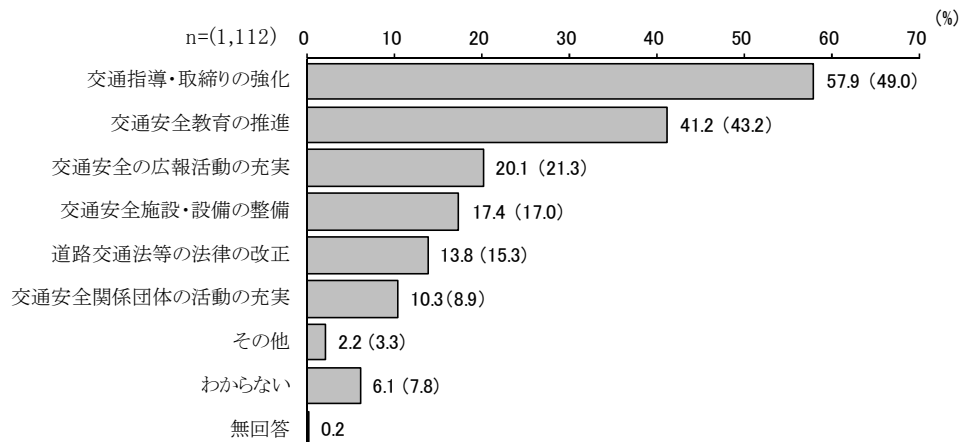


(注) 回答者数が30人未満の層では分析ではふれていない場合がある。

## 2. 交通マナー向上のために県が力を入れて取り組むこと

### －「交通指導・取締りの強化」が約6割－

問36 交通マナーを向上させるために、県が力を入れて取り組むことはどのようなことだと思いますか。次の中から、2つまで選んでください。



※( )内の数値は、平成23年の調査結果

※「わからない」は、平成23年では「わからない・無回答」。

交通マナー向上のために県が力を入れて取り組むこととしては、「交通指導・取締りの強化」(57.9%)が約6割と最も高く、次いで、「交通安全教育の推進」(41.2%)が4割台で続いている。

### －「交通指導・取締りの強化」が、約9ポイント増加－

前回調査(平成23年)と比べると、「交通指導・取締りの強化」が約9ポイント増加している。

### －県央で「交通安全教育の推進」が約5割－

地域別でみると、「交通安全教育の推進」は、県央(47.5%)で約5割と最も高くなっている。

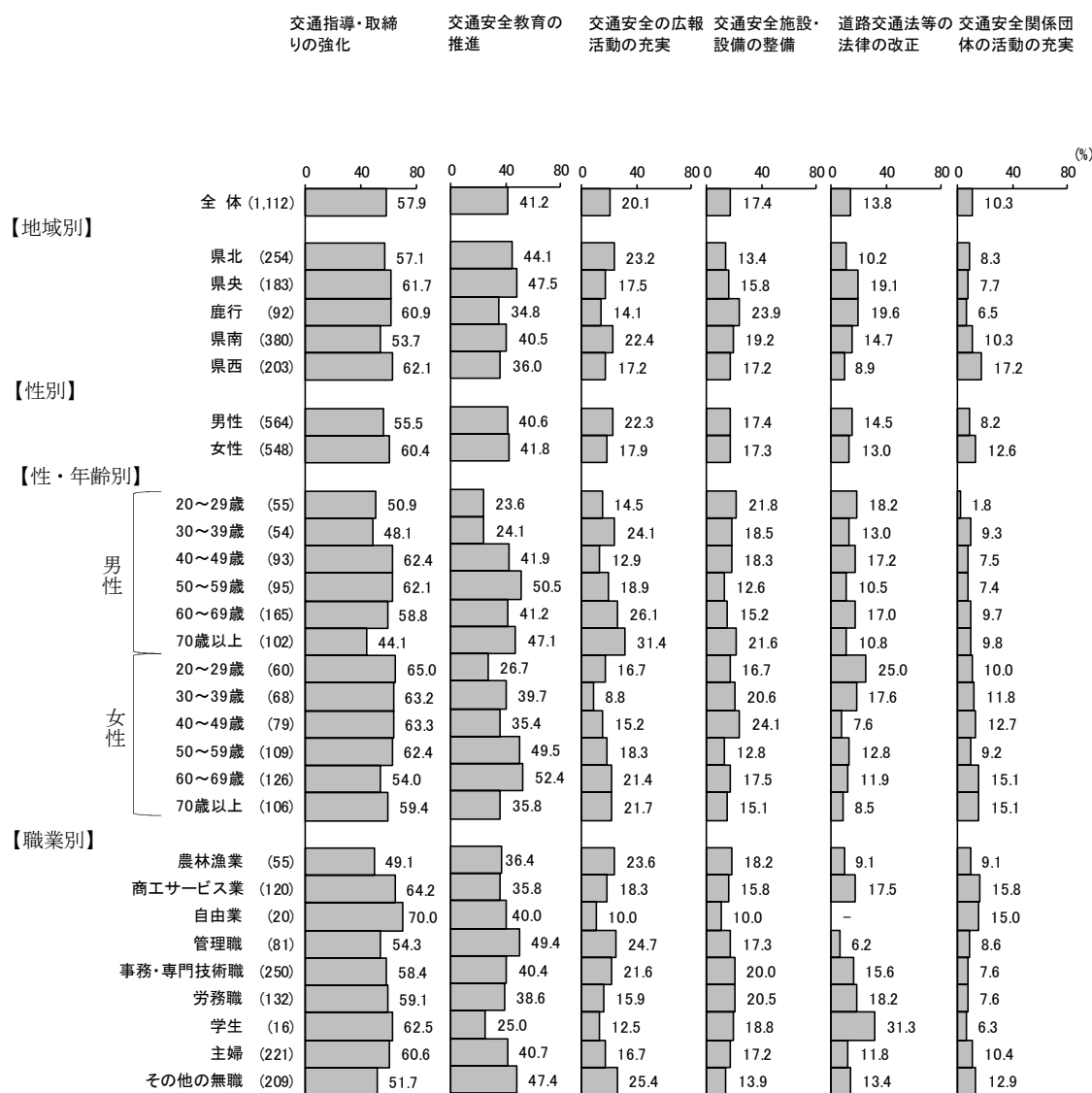
### －女性で「交通指導・取締りの強化」が男性よりも約5ポイント高い－

性別でみると、「交通指導・取締りの強化」は、女性(60.4%)が男性(55.5%)よりも約5ポイント高くなっている。

### －女性の20代から40代で「交通指導・取締りの強化」が6割台半ば－

性・年齢別でみると、「交通指導・取締りの強化」は、女性の20代(65.0%)、30代(63.2%)、40代(63.3%)で6割台半ばと高くなっている。

図Ⅻ 36-1 交通マナー向上のために県が力を入れて取り組むこと  
(地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別—上位6項目)



(注) 回答者数が30人未満の層では分析ではふれていない場合がある。

図Ⅻ 36-2 交通マナー向上のために県が力を入れて取り組むこと  
(前回調査との比較—上位5項目)

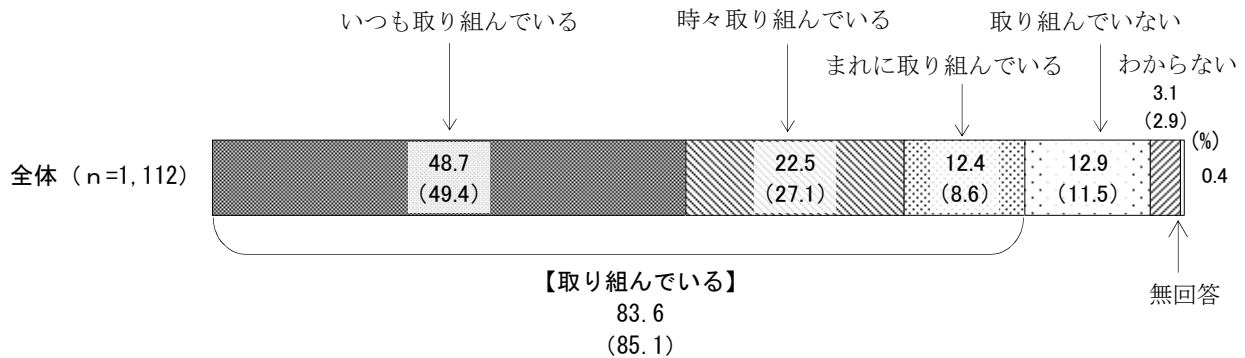
(単位: %)

	1位	2位	3位	4位	5位
今回調査 (H26) n=1,112	交通指導・取締りの強化 57.9	交通安全教育の推進 41.2	交通安全の広報活動の充実 20.1	交通安全施設・設備の整備 17.4	道路交通法等の法律の改正 13.8
前回調査 (H23) n=1,167	交通指導取締りの強化 49.0	交通安全教育の推進 43.2	交通安全の広報活動の充実 21.3	交通安全施設・設備の整備 17.0	道路交通法等の法律の改正 15.3

### 3. 交通事故防止策への取り組み状況

#### －【取り組んでいる】が8割台半ば－

問37 あなたは、早めのライト点灯や歩行者の反射材の着用などの交通事故防止策に、取り組んでいますか。次の中から1つだけ選んでください。



※( )内の数値は、平成23年の調査結果

※「わからない」は、平成23年では「わからない・無回答」。

交通事故防止への取り組み状況としては、「いつも取り組んでいる」(48.7%)、「時々取り組んでいる」(22.5%)、「まれに取り組んでいる」(12.4%)を合わせた【取り組んでいる】(83.6%)は、8割台半ばとなっている。

#### －前回調査と比べて特に大きな増減はない－

前回調査(平成23年)と比べると、特に大きな増減はみられない。

#### －県央で【取り組んでいる】が約9割－

地域別でみると、【取り組んでいる】は県央(89.0%)で約9割と最も高くなっている。

#### －【取り組んでいる】は特に大きな男女差はない－

性別でみると、【取り組んでいる】は、特に大きな男女差はみられない。

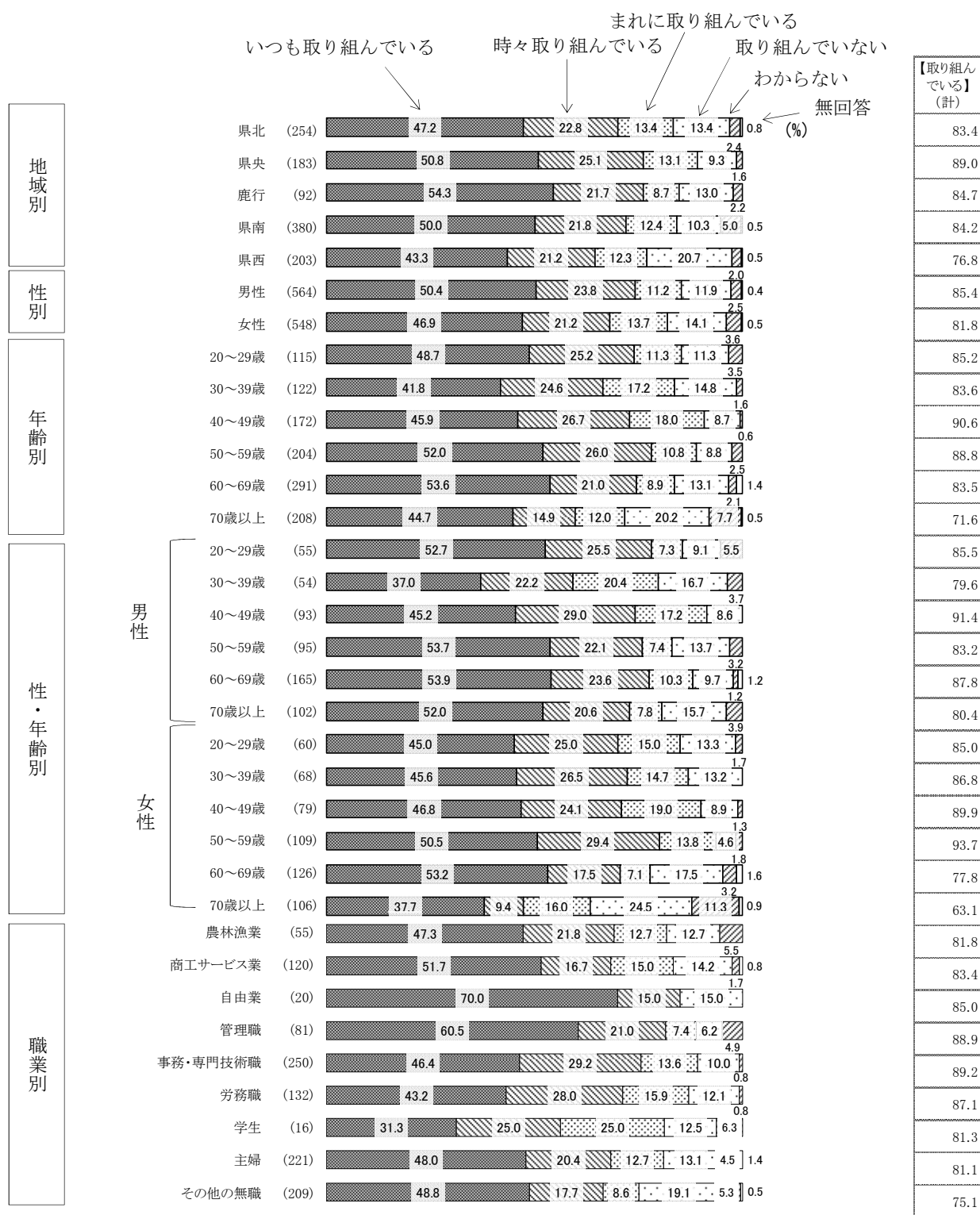
#### －40代で【取り組んでいる】は約9割－

年齢別でみると、【取り組んでいる】は、40代(90.6%)で約9割と最も高くなっている。

#### －女性の50代で【取り組んでいる】が9割台半ば－

性・年齢別でみると、【取り組んでいる】は、女性の50代(93.7%)で9割台半ばと最も高くなっている。

図Ⅻ 37-1 交通事故防止策への取り組み状況  
(地域別, 性別, 年齢別, 性・年齢別, 職業別)



(注) 回答者数が30人未満の層では分析ではふれていない場合がある。